

# 東海地震に備えた沼津市の防災対策

沼津市の最南西、達磨山連峰の一角に標高816mの金冠山という山がそびえています。沿道のマメザクラやアセビなどの四季それぞれの木々を楽しみながら頂上まで登ると、そこからは、北正面に富士山を背後に望む愛鷹山、右手には箱根連山、目を下に転ずれば、里山として親しまれている香貫山、小島を配した複雑な地形の奥駿河、そして千本浜から御前崎までの長い海岸線に抱かれた青く輝く駿河湾と、まさに眺望絶景という言葉がぴったりとする大パノラマが展開しています。

古くから海運、陸運の要衝として、静岡県東部地域の政治経済の中心的役割を担ってきた本市の魅力の一つが、この人々を感動させる豊かな自然です。

金冠山に登り、この美しいまちを一望したとき、この地に住む21万市民の方々が、いつまでも不安なく幸せに暮らしていけるよう、市政を預かる身として、全力を傾注しなければという思いを胸に抱きます。

昭和51年に東海地震説が発表されてから30年以上が経ちましたが、この間、本市は、一貫して東海地震対策を市の重要課題と位置づけ、自主防災組織の活性化、防災資器材の整備、災害情報伝達機能の強化、防災意識の啓発活動、津波対策や建築物の耐震化など、ハード、ソフトを問わず、さまざまな視点から有事の備えを進めてきました。

このようななか、平成13年度に、静岡県が、阪

神・淡路大震災の教訓やこれまでの災害対策などを反映した東海地震の第3次被害想定を発表し、本市における被害想定は、死傷者1,837人、建物被害は27,280棟というものでした。

これを受け、地震防災マニュアルをはじめとして、東海地震対策に関わる全ての計画を突発地震にも対応できるよう見直しを行いました。中でも、建物倒壊による死傷者数が全体の半数を占めているとの想定がされていることから、人的被害を少なくするためには、減災効果の大きい建築物の耐震化に継続的に取り組む必要があります。

このため、これまで進めてきた建築物の耐震化をさらに推進していくため、平成19年3月に「沼津市耐震改修促進計画」を策定し、平成27年度末までに、住宅と特定建築物については耐震化率90%、市が所有する公共建築物については耐震化率100%という具体的な目標値を設定し、事業の推進を図ることといたしました。

特に、将来の沼津を背負って立つ子供たちの尊い生命を守るために、公共施設の中でも小中学校と保育園施設の耐震化については、本市の重点施策として位置づけ、平成24年度末までに耐震化を完了させるよう努めているところです。

また、静岡県下において津波被害の約8割が本市で発生するとの想定がされていることから、津波対策は、本市の防災対策の中でも重要なものとなっています。

このため、津波ハザードマップなどの配布によ

沼津市長 くり はら 栗原 ひろ やす 裕康



る地域住民への危険度の周知や、津波避難誘導看板や海拔表示板の設置・更新、高台等への避難経路の確保、津波孤立予想地区用の防災備蓄倉庫の整備などの取り組みとともに、緊急的・一時的に津波から地域住民を守るための「まもるタワー(津波避難タワー)」を、本年度までに市内3箇所に設置しました。今後も、付近に津波避難協力所が無く、津波避難経路を使用して、予想される津波の到達地点までの距離がある地区などを対象に、随時設置していく予定です。

さらに、市内33箇所の陸閉閉鎖の自動化と遠隔操作化を実現する、津波、防潮防災ステーションを平成22年度より5ヵ年で整備していくため、整備主体である静岡県と具体的検討を進めているところです。

過去を振り返ってみると、本市は幾多の災害に見舞われています。歴史に残る大きな被害を受けた地震だけでも、1498年9月20日の明応の東海地震、1605年2月3日の慶長の東海・南海地震、1707年10月28日の宝永地震、1854年12月23日の安政の東海地震と4回発生しています。

今ほど技術が発達していなかった当時に、突如として襲ってきたこれらの地震によって、地面は大きく陥没し、家屋は一瞬にして廃滅しました。迫り来る津波になすすべもなく、逃げ惑うことしかできなかった人々の恐怖感は何れほどのものだったのでしょうか。

しかし、先人達は、災害の爪あとが深く残る郷土を目の前にして立ち上がり、共に力を合わせ、まちを復興してきました。

この先人達の惜しみない不断の努力の上に今の私達の暮らしがあることを常に心に留め、今後も「災害に強い安全なまちづくり」に努めていく所存です。

本市には、冒頭で紹介しました金冠山のほか、歌川広重の東海道五十三次にも描かれた野鳥が飛び交う浮島ヶ原や、若山牧水に愛され日本の白砂青松100選にも選ばれた千本松原など、多くの人々の心を掴んで止まない素晴らしい自然資源がまだまだたくさんあります。

また、この自然の恵みを受け、献上茶にも選ばれた沼津茶、高品質みかんで有名な寿太郎温州、沼津港に水揚げされるサバや戸田港に水揚げされるメヒカリなどに代表される新鮮な魚、そして全国シェア40%のアジのひものなど、全国に誇れる特産物も豊富です。

本市を訪れた方々にこの魅力を体感していただけるよう、さらには、住みたいと思っただけのように、この素晴らしい環境を守りながら、安全安心な暮らしを実現するまちづくりを進めてまいりますので、是非一度、沼津市にお越しくださいますよう、お願い申し上げます。